



TITLE:

表紙・はじめに・目次・執筆者一
覧・奥付

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・はじめに・目次・執筆者一覧・奥付. シナ=チベット系諸言語の
文法現象1: 名詞句の構造 2016

ISSUE DATE:

2016-03-15

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/245148>

RIGHT:

シナ＝チベット系諸言語の文法現象 1

名詞句の構造

Grammatical Phenomena of Sino-Tibetan Languages 1
The Structure of Noun Phrases

池田 巧 編
IKEDA Takumi (ed.)

はじめに

本論集は、チベット＝ビルマ系言語を中心に周辺諸語にも視野を広げ、各言語の名詞句について類型構造を記述分析した 11 の論考を収録している。名詞句を構成する文法構造の諸特徴と、言語間の異同を明らかにすることを目標として研究会を開催し、専門的な視点から分析と討論を重ねた。その成果を専門の異なる関連分野の研究者にも参照していただけるよう、日本語でわかりやすい叙述をするという方針のもとに編集したものである。

アジアの諸言語における名詞句の構造を明らかにした先行研究には、東南アジア諸言語研究会（編）『東南アジア大陸部諸言語の名詞句構造』（慶應義塾大学言語文化研究所、2006 年）がある。東南アジア大陸部の 6 言語：ベトナム語、クメール語、タイ語、ラオ語、ビルマ語、ロンウォー語を対象とした記述分析を収録しており、この分野の基本文献として知られている。研究を進めるにあたっては、同書を随時参照するとともに、執筆者の澤田英夫さんにロンウォー語について、また岡野賢二さんにはビルマ口語について、同書での論考をもとに研究報告を行っていただいた。加えて同書の巻頭で名詞句の記述の指針として示された澤田英夫「名詞句構成要素の分類」を本論集にも再録し、読者の参照の便宜に供することとした。著者の澤田さんおよび東南アジア諸言語研究会の代表者である三上直光教授には記して謝意を表したい。

本論集に収める各論考について議論を行った研究会は、京都大学人文科学研究所（以下人文）の共同研究班「漢語と周辺諸語の類型構造論」（平成 23 年度～24 年度、班長：池田巧）による研究活動の一環として開催された。この研究会は東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所（以下 AA 研）の共同研究プロジェクト「チベット＝ビルマ系言語からみた文法現象の再構築 (1)：格の体系とその周辺」（平成 19 年度～20 年度、主査：澤田英夫）および「チベット＝ビルマ系言語からみた文法現象の再構築 (2)：文の特徴付けと下位分類」（平成 21 年度～22 年度、主査：澤田英夫）を継承したものである。

人文に拠点を移してからは、「TB+（プラス）研究会」と称して研究対象をやや拡張し、チベット＝ビルマ諸語を中心としながらも、周辺のシナ＝チベット系の諸言語にも範囲を広げて比較対照を行った。分析にあたっては、AA 研の共同研究プロジェクトの精神を引継ぎ、類型構造の表面的な整理や類似の指摘に止まることなく、個別言語の内部構造の多様なメカニズムを深く観察して精密に記述することを目指した。研究会は今後もテーマごとに古代漢語から現代諸方言を含むシナ＝チベット系諸言語の類型構造の分析を進め、表層の多様性と動態、基層の痕跡と継承、構造とメカニズム、その歴史的発展の方向性などを掘り下げて行きたいと考えている。

AA研の共同研究プロジェクトの成果は、澤田英夫（編）『チベット＝ビルマ系言語の文法現象 1：格とその周辺』（東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所，2010 年 3 月）および澤田英夫（編）『チベット＝ビルマ系言語の文法現象 2：述語と発話行為のタイプからみた文の下位分類』（東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所，2013 年 3 月）として刊行されている。本論集も同シリーズの第 3 冊目として編集したが，研究対象の範囲を拡張したことにともない，シリーズの書名を本冊より『シナ＝チベット系諸言語の文法現象』と改め，ミャオ＝ヤオ系のショオ語についての論考も収録した。

なお中西裕樹さんの論考「ショオ語の所有者表現」は，研究会での報告の後，さきに刊行された東方學研究論集刊行会（編）『東方學研究論集』日英文分冊，臨川書店，2014 年．164-180 頁に掲載したものを，本研究会における成果の集成という観点から，著者本人の承諾を得て少し体裁を改めたうえで本書にも再録したものである。

*本論集は，京都大学人文科学研究所共同研究班「漢語と周辺諸語の類型構造論」（平成 23 年度～ 24 年度，班長：池田巧）および科学研究費補助金：基盤研究 (A) 23242019「羌系諸語の歴史と西夏語の位置づけに関する実証的研究」（平成 23 年度～ 27 年度，代表者：池田巧）の成果報告の一部である。

目 次

はじめに.....	i
目次.....	iii
名詞句構成要素の分類.....	澤田 英夫 1
アムド・チベット語の名詞句構造.....	海老原志穂 3
カムチベット語梭坡 [Sogpho] 方言（丹巴県）における	
名詞句の構造.....	鈴木 博之 15
ダバ語の名詞句と修飾構造.....	白井 聡子 27
ムニャ語の名詞句.....	池田 巧 37
西夏語の名詞句構造について.....	荒川慎太郎 57
チノ語悠楽方言の名詞句構造とその周辺.....	林 範彦 73
ポー・カレン語の名詞句.....	加藤 昌彦 95
メチェ語の名詞句構造の概要.....	桐生 和幸 113
セケ語の名詞句構造と名詞化.....	本田伊早夫 131
キナウル語の名詞句構造と修飾構造.....	高橋 慶治 155
ショオ語の所有者表現.....	中西 裕樹 171
執筆者一覧.....	185

執筆者一覧（五十音順）

- 荒川慎太郎（東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所）
池田 巧（京都大学人文科学研究所）
海老原志穂（東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所研究機関研究員）
加藤 昌彦（大阪大学大学院言語文化研究科）
桐生 和幸（美作大学生活科学部）
澤田 英夫（東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所）
白井 聡子（麗沢大学言語研究センター客員研究員）
鈴木 博之（オスロ大学ポスドク研究員／国立民族学博物館外来研究員）
高橋 慶治（愛知県立大学外国語学部）
中西 裕樹（同志社大学グローバルコミュニケーション学部）
林 範彦（神戸市外国語大学外国語学部）
本田伊早夫（名古屋短期大学英語コミュニケーション学科）

シナ＝チベット系諸言語の文法現象 1 名詞句の構造

2016(平成 28)年 3 月 15 日発行

編 者 池田 巧

発 行 京都大学人文科学研究所
京都市左京区吉田本町

印 刷 中西印刷株式会社
京都市上京区下立売通小川東入ル
